

資料 1 - 2

症例 1





型分類：0/0

作業歴：炭坑 27年3ヶ月、溶接 11年9ヶ月

年齢：64歳

単純写真撮像形式：CR

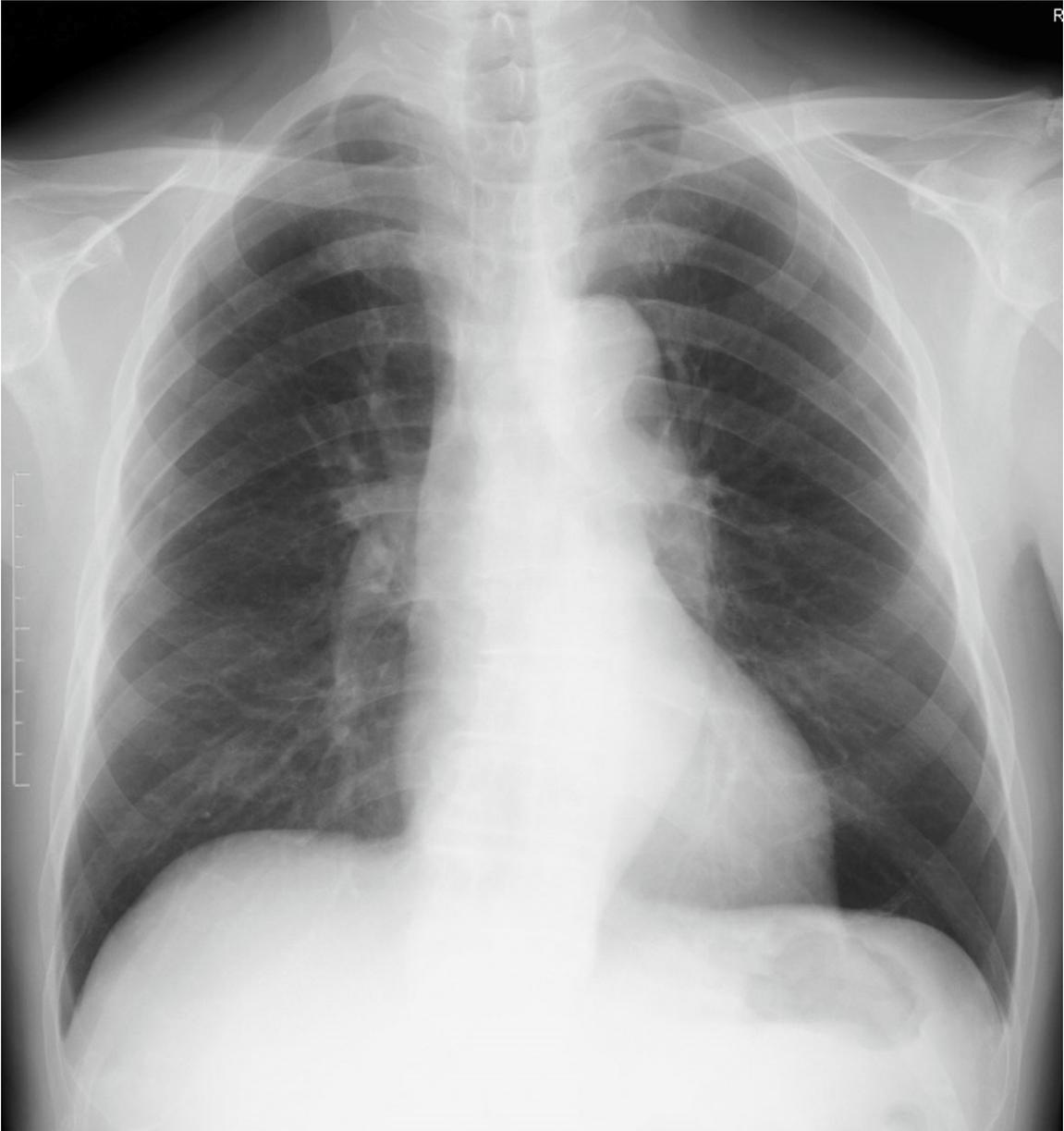
CT画像の有無：有

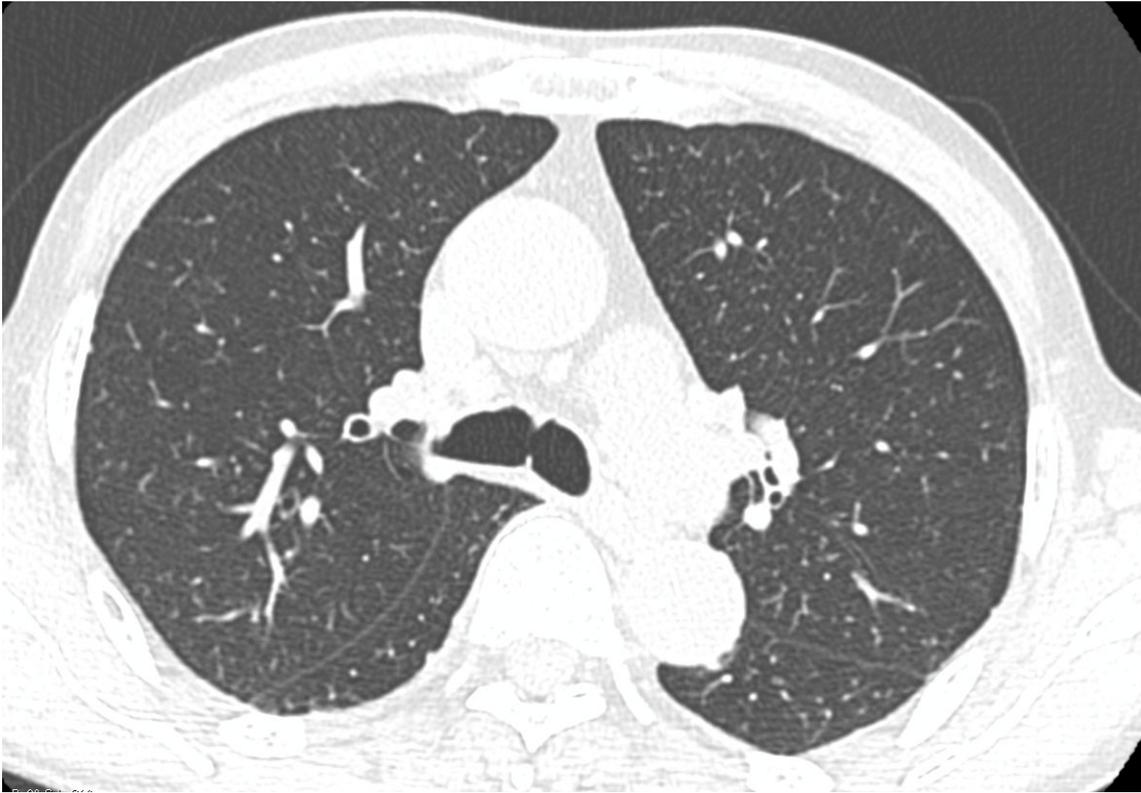
画像所見：

胸部 X 線：左下肺野に索状影がみられる。両肺野とも、じん肺を疑う所見は認められない。

胸部 CT：じん肺を疑う所見は認められない。

症例 2





型分類：0/1

作業歴：炭坑 34年5ヶ月

年齢：66歳

単純写真撮像形式：CR

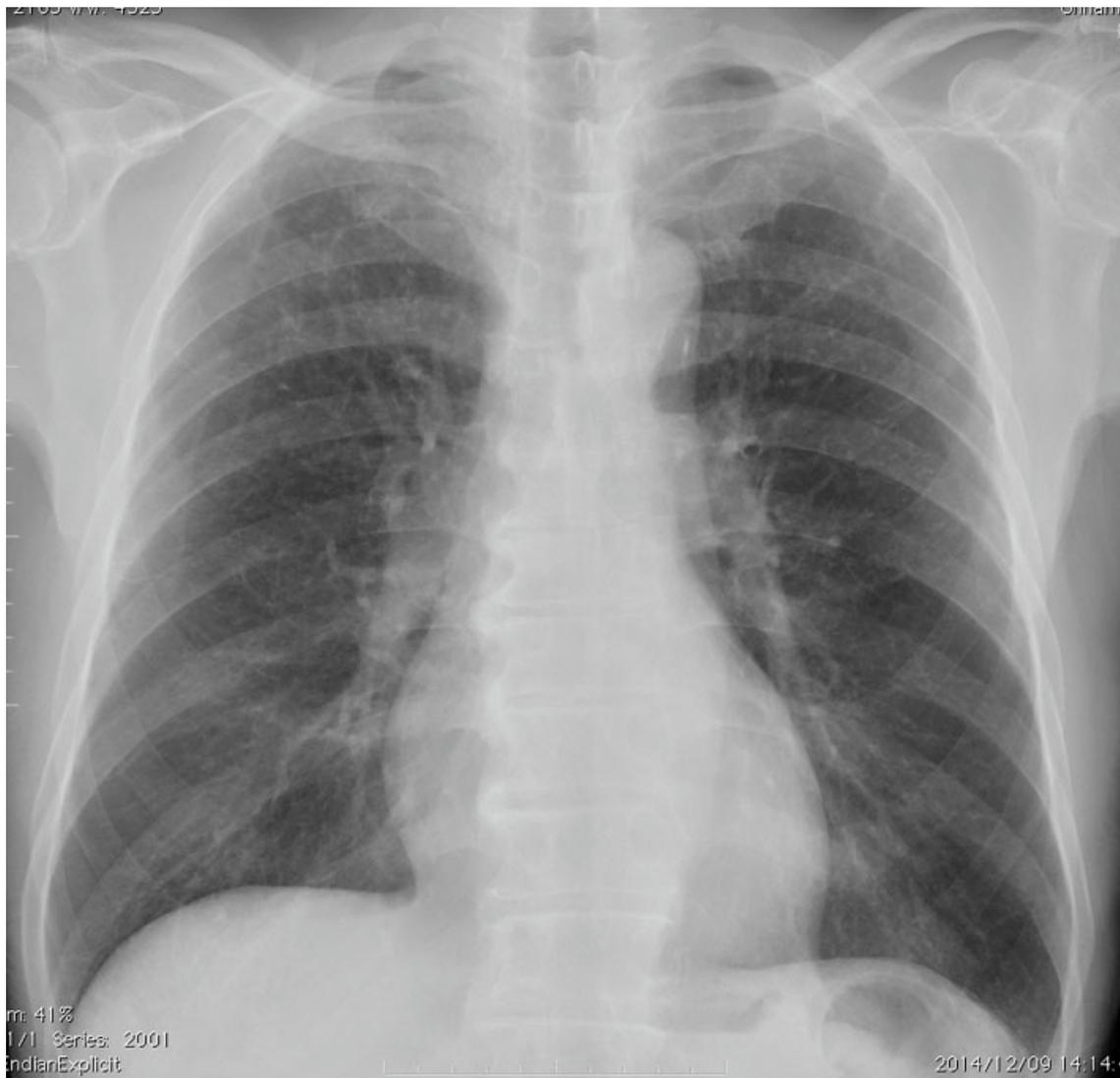
CT画像の有無：有

画像所見：

胸部 X 線：両側上肺野にわずかに粒状影が認められる。

胸部 CT：両側上葉の胸膜下を主体に少数の粒状影が認められる。本例は、粒状影の密度と分布がごく限られているため、第 1 型に至らず、第 0 型 (0/1) に相当する。

病例 3





型分類：1/1

作業歴：石の粉碎・運搬 30年間

年齢：89歳

単純写真撮像形式：DR(キャノン製)

CT画像の有無：有り

画像所見：

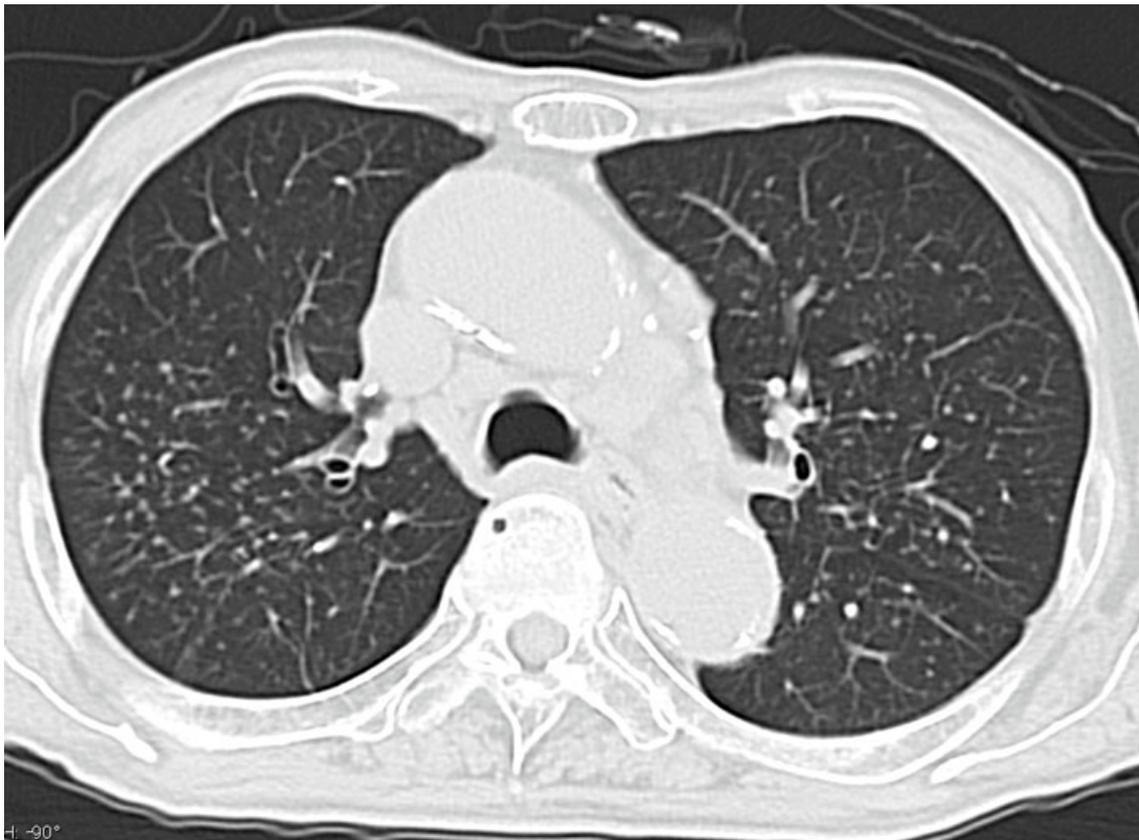
胸部 X 線：両側上肺野に粒状影が多発性に認められる。中肺野にも少し認められるが、下肺野には認められない。粒状影の大きさは「q」、第1型(1/1)に相当する。

胸部 CT：肺尖部から中間気管支幹のレベルまで、境界明瞭な粒状影が多発性に認められる。右上葉では粒状影の癒合傾向が認められる。

胸膜に接する粒状影も認められ、いわゆる pseudo-plaque である。

病例 4





型分類：PR2/2 (p/p)

作業歴：31歳～55歳クレー製造作業 56歳～62歳耐火レンガ製造作業

年齢：79歳

単純写真撮像形式：CR

CT画像の有無：有

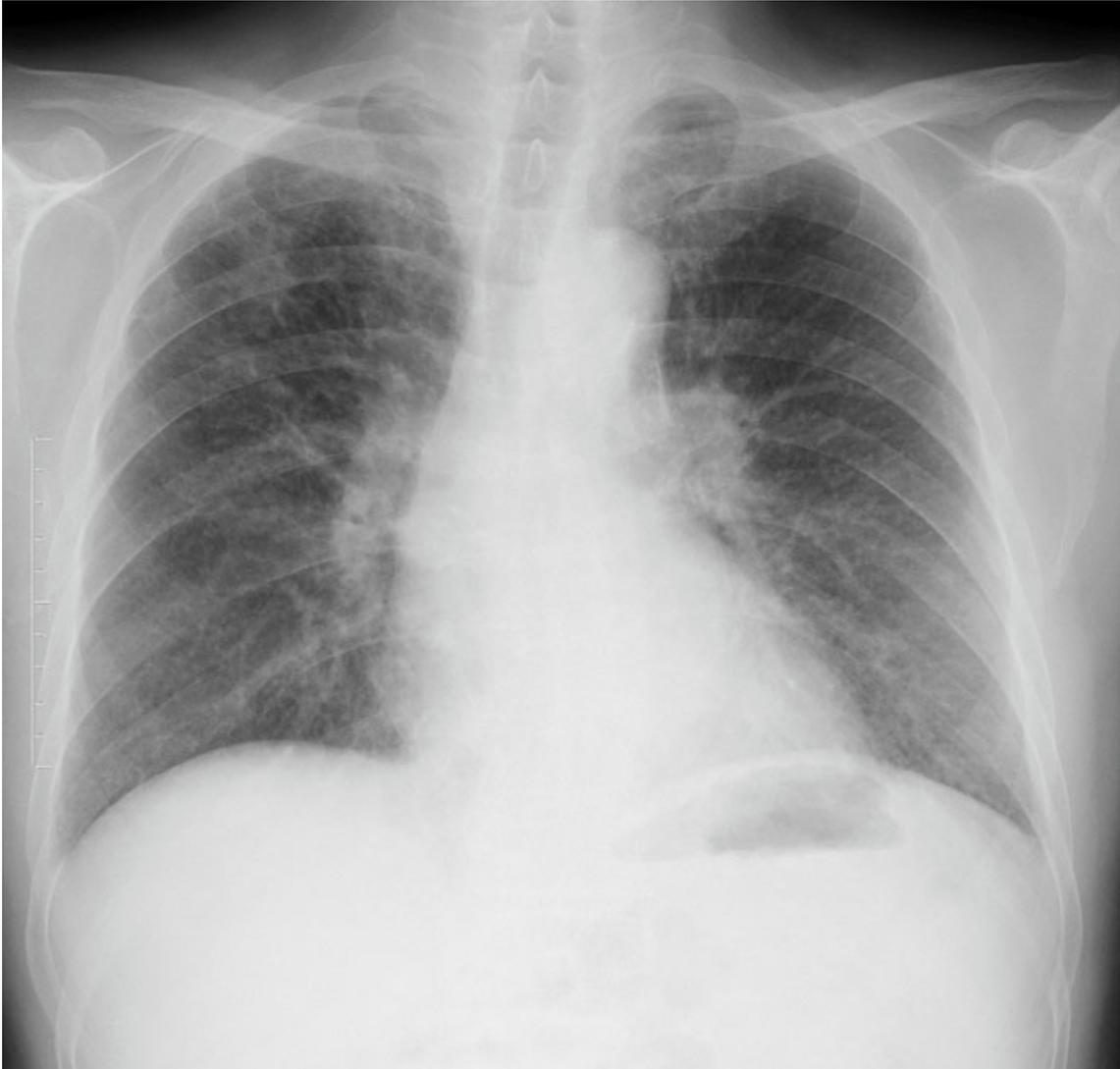
画像所見：

胸部 X 線：両側上中肺野主体に境界明瞭な粒状影が多数認められる。

胸部 CT：両側上葉主体に境界明瞭な粒状影が多数認められる。

両側肺門部リンパ節腫大がみられ、一部には石灰化を伴う。

病例 5





型分類：PR4A

作業歴：15 歳～26 歳耐火レンガ製造 26 歳～60 歳コンクリート製造

年齢：79 歳

単純写真撮像形式：CR

CT 画像の有無：有

画像所見：

胸部 X 線：両側上肺野を主体に粒状影が多数認められる。さらに、右上肺野に大陰影が認められるが、その径は 5 cm 未満であり、第 4 型 (A) に相当する。

胸部 CT：両側上葉主体に境界明瞭な粒状影が多数認められ、右上葉には大陰影が確認できる。

病例 6





型分類：PR4B

作業歴：16 歳～62 歳石材掘削、運搬作業

年齢：81 歳

単純写真撮像形式：CR

CT 画像の有無：有

画像所見：

胸部 X 線：両側上肺野にそれぞれ大陰影が認められる。大きさを合わせると 5cm を超えるが、肺野全体の 3 分の 1 には達していないため、第 4 型 (B) に相当する。

胸部 CT：両側上葉にそれぞれ大陰影が認められ、周囲には粒状影が多発している。また、大陰影および縦隔リンパ節には石灰化を伴う (es)。

症例 7





型分類：PR4C

作業歴：16 歳～58 歳石材加工

年齢：79 歳

単純写真撮像形式：CR

CT 画像の有無：有

画像所見：

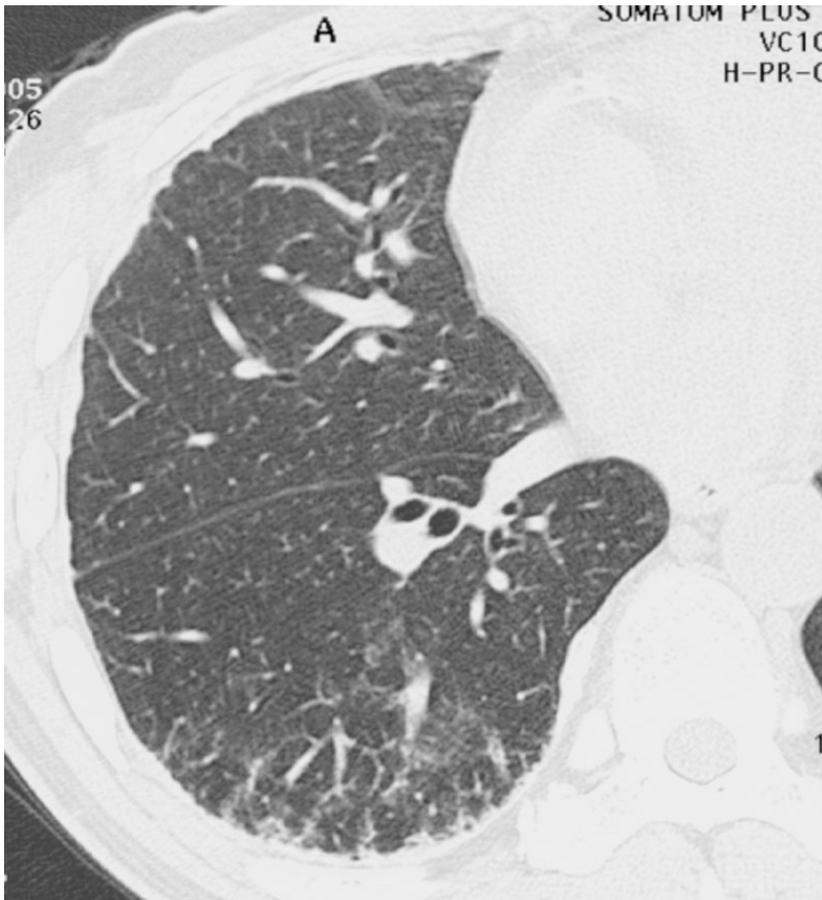
胸部 X 線：両側中肺野を主体に複数の大陰影が認められ、これらを合わせた広がりには肺野全体の 3 分の 1 を越えるため、第 4 型 (C) に相当する。

胸部 CT：両肺に粗大な石灰化を伴う大陰影が多数認められる。その周囲には多数のブラ (bu) もみられる。また、縦隔・肺門リンパ節は多数腫大しており、明瞭な石灰化 (es) を伴っている。

症例 8



症例 8



型分類：0/1

作業歴：石綿調査・配合 22年

年齢：61

単純写真撮像形式：DR(キャノン)

CT画像の有無：有り

画像所見：

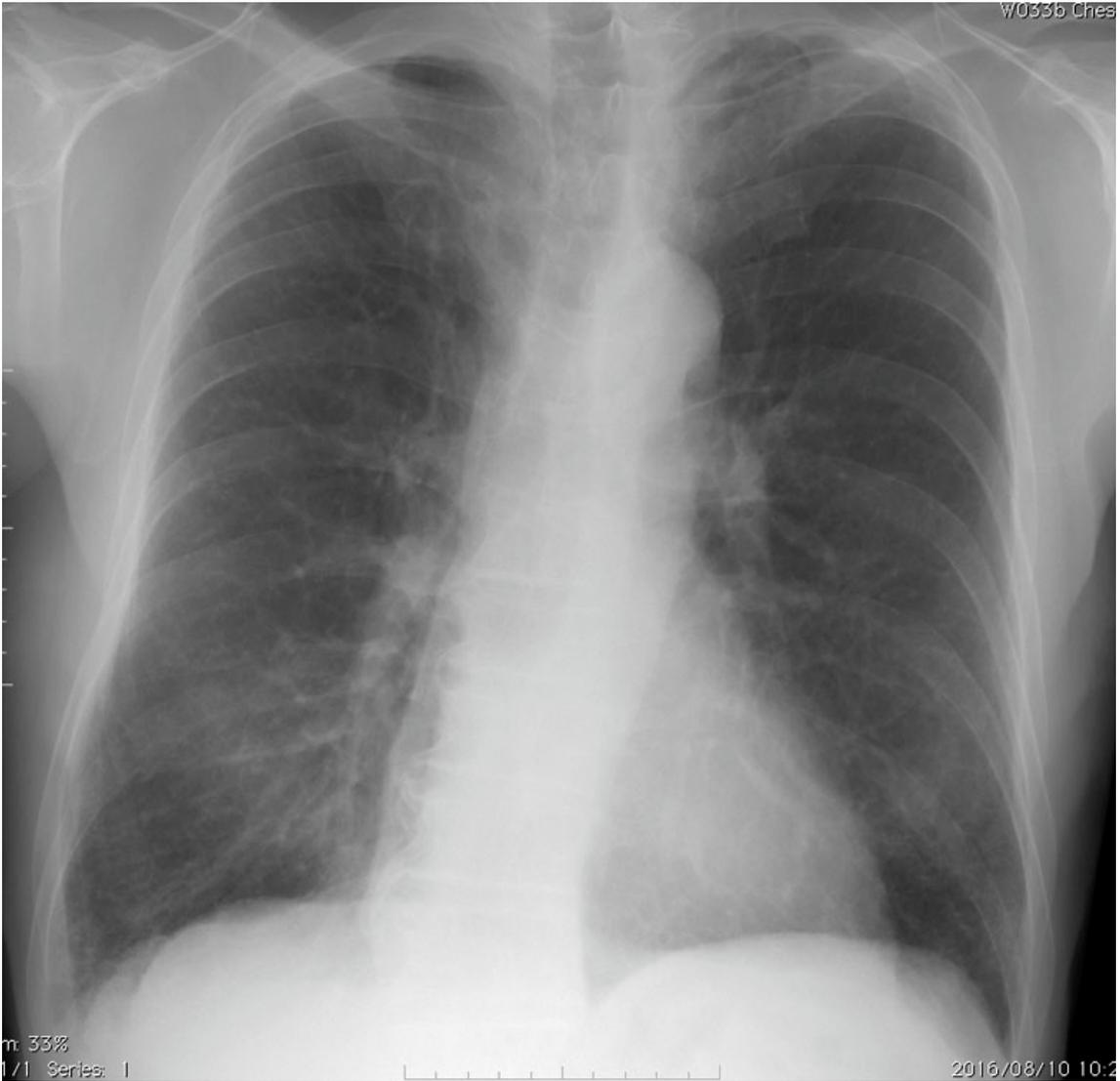
胸部 X 線：両側下肺野に網状影がわずかに疑われるが、第 1 型に至らず、第 0 型 (0/1) に相当する。両側中肺野外側に不均一な透過性低下域がみられる。右横隔膜に石灰化胸膜プラークが認められる。

胸部 CT：両側下葉胸膜側に不均一なすりガラス影が認められる。

蜂巣肺や牽引性気管支拡張は認められない。

石灰化胸膜プラークは右横隔膜だけではなく、両側胸壁側に多発性に認められる。

症例 9





型分類： 不整形陰影 1/0 型

作業歴： アスベスト加工（アスベストを含む建築材、保温材、パッキング材）、  
保温）25 年

年齢：74 歳

単純写真撮像形式： シーメンス フラットパネル

CT 画像の有無：あり

画像所見：

胸部 X 線：両側下肺野に網状影が認められる。その密度と分布は第 1 型（1/1）  
と比較してやや限られるため、第 1 型（1/0）に相当する。右下肺野縦隔側に淡  
い結節影が認められる。

胸部 CT：両側下葉の背側胸膜下に軽度の網状影が認められる。右中葉縦隔側に  
充実性結節（肺癌）がみられる。

症例 10



症例 10



型分類：1/1

作業歴：溶接作業で石綿使用 42年

年齢：72

単純写真撮像形式：DR(キャノン製)

CT画像の有無：有り

画像所見：

胸部 X 線：左下肺野優位に両側性に網状影が認められる。陰影の広がり第 1 型 (1/1) に相当する。心拡大も認められる。

胸部 CT：両側下葉胸膜下に網状影を伴うすりガラス影が認められ、牽引性気管支拡張もみられる。左上葉の胸膜下には小葉中心性粒状影 (dot-like nodule) が認められる。

多発性の胸膜プラークが明瞭に認められる。

病例 1 1



## 症例 1 1



型分類： 不整形陰影 2型

作業歴： 石綿（ニチアス勤務 詳しい業務内容は記載なし、昨年死亡）40年  
年齢：70歳

単純写真撮像形式：シーメンス フラットパネル

CT画像の有無：あり

画像所見：

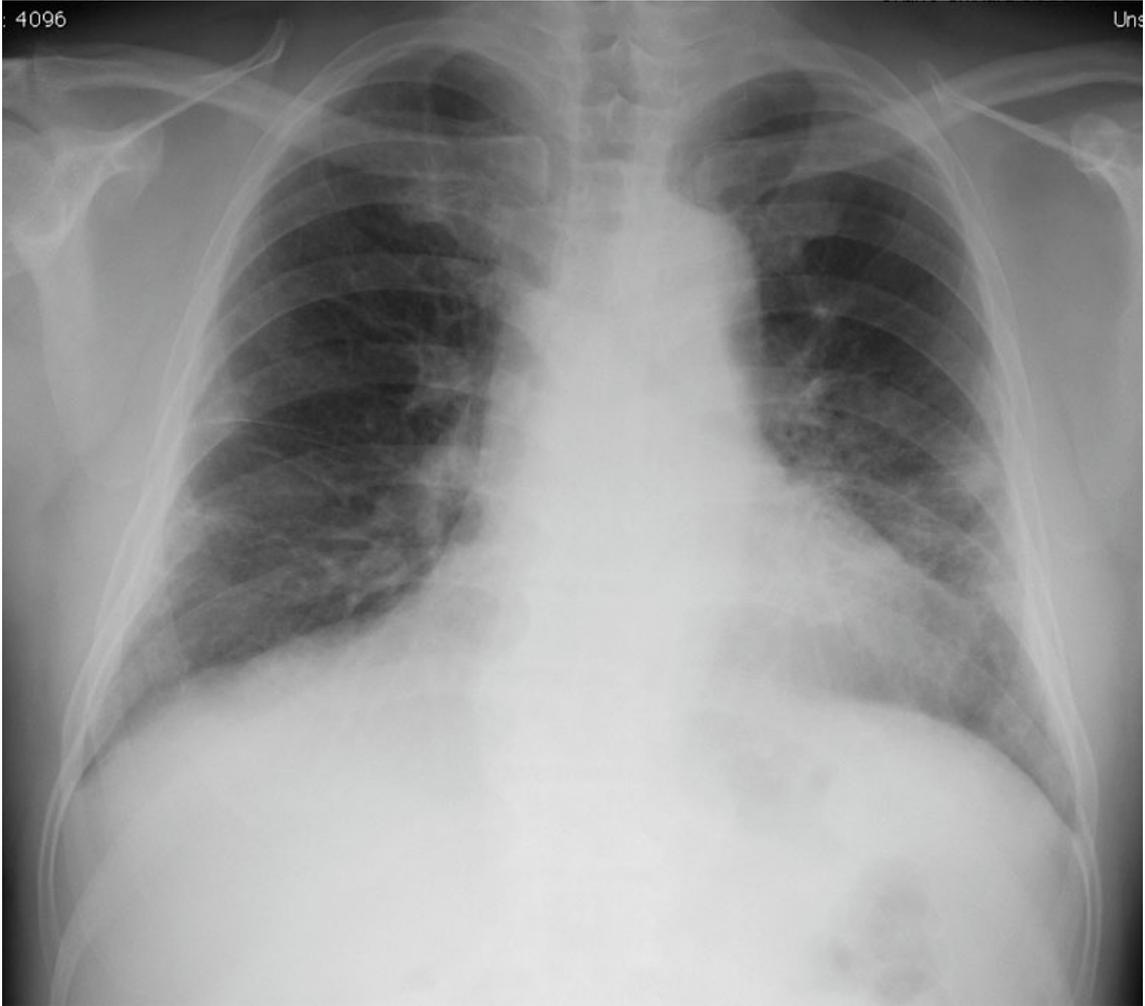
胸部 X 線：両側下肺野に網状影が認められる。肺の容積減少を伴っている。

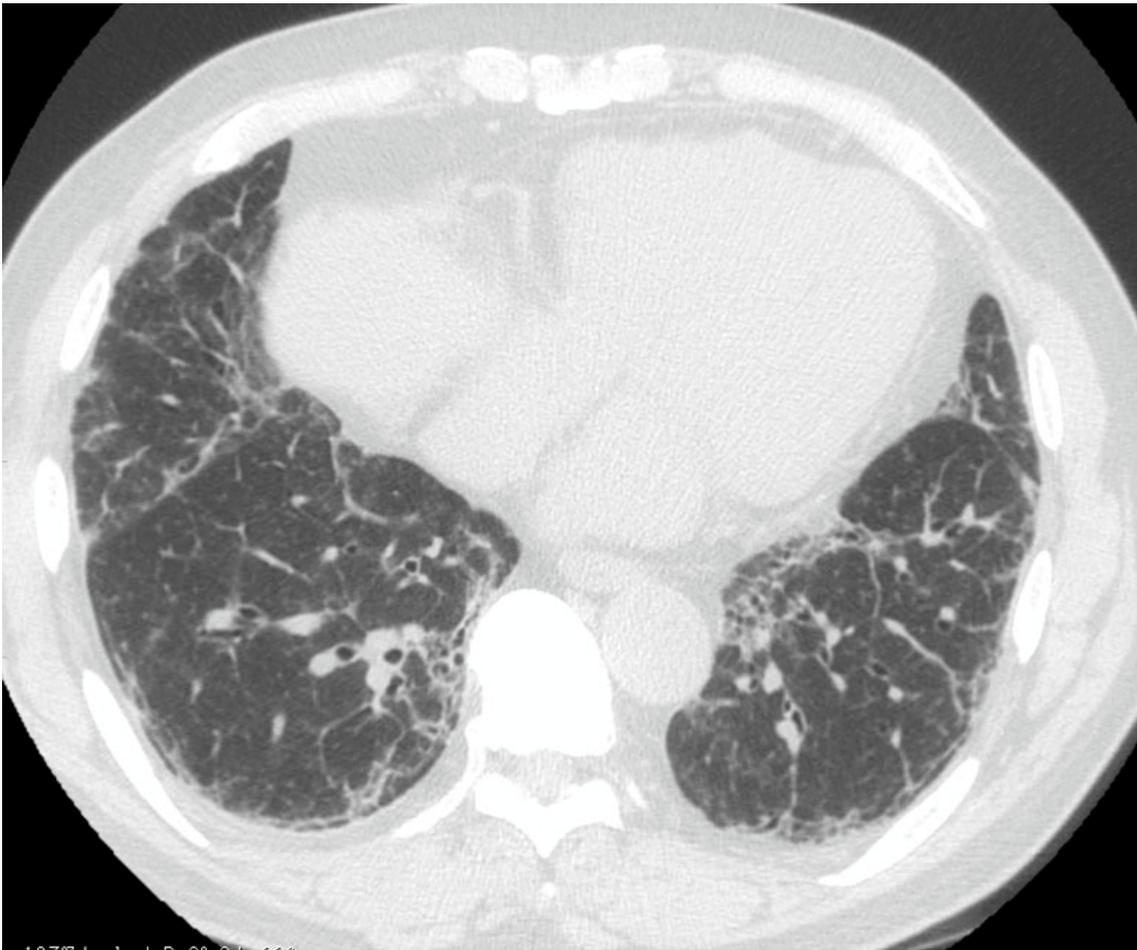
陰影の広がりや第 2 型相当である。

両側横隔膜に石灰化胸膜プラークがみられる。

胸部 CT：両肺に胸膜下曲線状影と小葉中心性粒状影がみられ、後者は肺内層にもみられる。下葉では索状影や小葉間隔壁肥厚も認められる。両側性に石灰化胸膜プラークがみられる。

病例 1 2





型分類： 不整形陰影 2 型

作業歴： 石綿板の作成 30 年

年齢：68 歳

単純写真撮像形式：日立 CR

CT 画像の有無：あり

画像所見：

胸部 X 線：両側下肺野に網状影が認められる。肺の容積減少を伴っている。

陰影の広がり方は第 2 型相当である。

胸部 CT：両側下葉優位に、小葉中心性粒状影と胸膜下曲線状影が認められる。

下葉では網状影がみられ、容積が減少している。両側胸膜にプラークが散見され、右横隔膜のプラークは石灰化を伴う。

症例 13





型分類：3/3

作業歴：石綿吹きつけ 22年

年齢：52

単純写真撮像形式：アナログ

CT画像の有無：有り

画像所見：

胸部 X 線：両側下肺野優位に、肺野透過性低下および網状影が認められる。両側下葉の容積が減少している。第 3 型に相当する。右横隔膜に石灰化胸膜プラークが認められる。

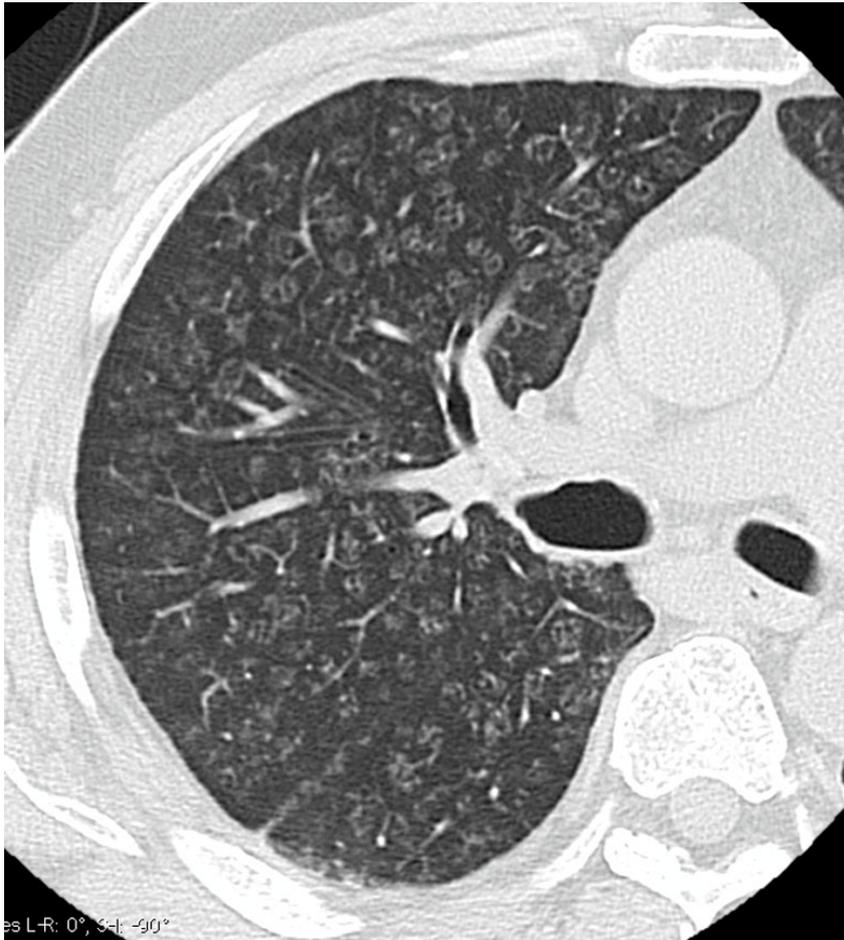
胸部 CT：両側下葉主体に気管支血管束の肥厚やすりガラス影が認められる。一部小葉間隔壁の肥厚もみられる。牽引性気管支拡張は殆ど認められない。

両側上葉には小葉中心性の淡い粒状影 (dot-like nodule) が肺の内層まで認められる。

病例 14



症例 1 4



型分類：PR2/2

作業歴：25歳～48歳まで鉄工所において溶接作業を行っていた。

年齢：58歳

単純写真撮像形式：CR

CT画像の有無：有

画像所見：

胸部 X 線：両側中下肺野主体に境界不明瞭な多発粒状影が認められる。

胸部 CT：両肺びまん性に極めて多数の淡い小葉中心性粒状影が認められる。